

## 第1回地方独立行政法人公立甲賀病院評価委員会議事録（概要）

日時：3月7日（水）15時から17時まで

場所：公立甲賀病院 講堂1

出席者：管理者 谷畑英吾

委員 福島公明（委員長）、石井厚徳、大橋淳一、甲斐切稔、  
廣原恵子

病院 清水和也、佐井良昌、今元三一郎、中尾博志、中村敏之、  
加藤潤也、谷川敬二

トーマツ 辻井芳樹・高橋博通

欠席者：委員 木村一博、周防正史

主な内容：

1. 管理者あいさつ
2. 自己紹介
3. 評価委員会制度について  
（事務局から説明）

4. 委員長選出

委員の互選により、委員長に福島氏が選出された。

5. 病院の概要説明

事務局の概要説明ののち、各委員より以下のとおり質疑があった。

委員：課題が沢山ある、何から解決するか。同規模病院と比べての経営状態は。

→病院：公立病院は、構成団体からの繰入負担金を前提に収支均衡を考えている。課題として、入院患者数の獲得が挙げられる。これに関連して、救急患者の確保、看護師数の増員といった諸課題が考えられる。これらを中心に動いていきたい。

→委員：病院の収入は、患者数に単価を掛けたものであり、外来よりも入院診療単価の方が高い。病床回転を高め、入院期間を短くすることがポイントである。単価上昇のためには人手が必要である。また、救急対応のためには専門知識のある医師・看護師が必要である。

委員：病院建物は費用を抑えて、経済的に建築されている。救急エリアは広い。

委員：業務スペースが手狭ということだが、どういう設計で建てられたのか。

→病院：新病院は、費用削減・配置人員の節減をコンセプトとして建設された。

このため、事務スペースが少ない。一方、病棟は広く、患者さんのアメニティは向上した。既に業務拡大に支障が出てきており、考慮が必要である。

委員：甲賀消防搬送患者のうち、何割が搬入されているか。

委員：どのような疾患が受入できていないのか。心筋梗塞、脳卒中など、緊急を要する疾患も断っているのか。

→病院：救急患者が重なる時、重症患者の診療時、高エネルギー外傷、精神科関連患者は断ることがある。応需率は約 5 割で、受入交渉があった際は約 9 割受け入れている。

委員：心筋梗塞など、急性疾患の完結率は。病床稼働率は何パーセントか。

→病院：(資料のとおり)

委員：診療単価は診療科による差があるか。

→病院：診療単価は急性期だけだと約 5.4 万円で、全体では 5 万円に満たず、5.3 万円を目指しているが、相当な努力が必要である。

委員：人件費率、材料費率、委託比率は。

→病院：人件費率は、退職手当組合負担金を含めて 6 割程度である。材料比率は、昨年度、コンサルティング業者の協力を得て 1 億円近くの削減が進みつつある。委託比率について、3 年ほど前より入院事務を自前化した。現在、給食・施設管理・警備・院内医療材料流通 (SPD) の各業務が委託である。当院は、以前は人件費率が非常に低かったが、診療報酬制度が人的資源配置を評価する方向にシフトしている中で、上述の人件費率となっている。

委員：入院患者を増加したいとのことだが、地域の人口は減少している。

→病院：当院の入院患者は 70 歳以上がほとんどで、入退院を繰り返す傾向がある。そういう患者さんをしっかり診ていこうということである。

委員：救急の専門医不在で救急受入れを増加させられるか。

→病院：救急を断る一因は医師の専門化であり、入院後のバックアップや滋賀医大のバックアップなどを進めることで、改善の動機づけとなれば良いと考える。

委員：看護学校卒業生が他の地域に出て行っているが。

→病院：最近では志望者の質を重視し、看護師としての適格性を見極めをしている。看護学校の学生には他の病院も奨学金を出している。今後は待遇を改善しないと人材確保が難しい。

委員：医療通訳 2 名で、多言語システムがあるのではないかと思うが、十分に外国人患者の対応ができていますか。

→病院：できていると思うが、県の補助金が打ち切られており見返りが無い。

管理者：この委員会は、病院の現状をなんとかしようというものではなく、設立団体として地域全体を良くする上での当院の位置付けを議論いただきたい。

#### 6. 中期目標（案）について

委員：地域包括ケアシステムについて、厚生労働省が地域共生社会との接続を打ち出しており、中期目標でも触れるとよいのではないか。

委員：やりがいと満足度向上において、一番エネルギーが掛かるのは意識改革であり、全職員で取り組まないと職員が流出する。

委員：ワークライフバランスの推進は全職員でしてほしい。家庭的な和気藹々とした雰囲気をお願いしたい。

委員：各論的には、例えば、職員の意識改革といった項目に対して、どのような指標を定義するか検討が必要である。

病院：今後、中期目標（案）に対して事務局へご意見をいただきたい。

#### <事前配布資料>

- ・ 公立甲賀病院の概要
- ・ 公立甲賀病院平成 28 年度決算書
- ・ 公立甲賀病院未来創造委員会答申書
- ・ 公立甲賀病院新改革プラン
- ・ 滋賀県地域医療構想資料
- ・ 地方独立行政法人制度について
- ・ 地方独立行政法人公立甲賀病院定款
- ・ 中期目標（案）

以上